



You Tube
録画中継は
こちらから



山田 洋子
(柊の会)

災害時における応援協定の 内容確認や更新は

年度はじめに見直し の有無などを確認したい

問 災害時における応援協定は、締結から年数が経過している協定があるが、内容の確認や更新を行っているのか。

答 市が協定を締結している全ての団体に対し、年度初めに内容の見直しなどの有無を確認したいと考えています。

問 東北電力ネットワーク株式会社との協定について、倒木等による停電防止と復旧迅速化を目的とした協定の見直しをする考えは。

答 倒木による停電や道路の機能に支障を及ぼすおそれがある樹木を事前伐採することについて、協定書の変更手続きを進めています。

問 教育相談室「トワハート」や教育支援室「わかこま」などに通室しておらず、支援の手が届いていない不登校児童生徒はいるか。

答 通室している児童生徒だけに支援が行き届いているということではなく、小中学校において、校内教育支援センターでの支援、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる支援、家庭訪問など個別の状況に応じた対応により、支援の手が届いていない児童生徒はいません。

問 不登校の状態が続いたまま中学校を卒業する生徒やその保護者にどのような支援の窓口を案内しているのか。

答 義務教育終了後の支援については、生徒一人一人の進路が異なり個々に応じた適切な配慮が必要なことから、中学校から進学先へ情報提供を行うほか、家庭環境に継続的な支援が必要な場合には、こども家庭センターを中心として関係機関と協力しながら支援しています。18歳以降も、関連部局が連携し、必要とする支援を途切れさせない体制づくりに努めていきます。



You Tube
録画中継は
こちらから



中尾 利香
(自民公明クラブ)

生ごみ回収事業の今後の方向性は

さらなる生ごみの減量に努める

問 一部の町内会の協力により、生ごみ回収事業を行っているが、今後の方向性は。

答 当市が目指すゼロカーボンシティの実現に向けて重要な取組であることから、今後さらに多くの町内会にご理解とご協力を頂きながら、生ごみの減量に努めていきたいと考えています。

問 生ごみの水切りを行う電動式生ごみ処理機の貸出しを行っているが、購入のための補助をする考えは。

答 貸出し後の使用者アンケートでは、軽くてごみ出しが楽になった、生ごみの量が激減した、補助があれば購入したいなどの意見が多数あったことから、電動式生ごみ処理機などの購入補助として、令和8年度一般会計当初予算に40台分、80万円を提案しています。

問 親亡き後の障がい者への支援について、市として今後どのように支援をしていくのか。

答 障がいのある方の高齢化や重度化、親亡き後に備えるとともに、地域生活において障がいの特性に起因した緊急事態やその家族の支援が見込めない状態に対応するため、令和4年7月から地域生活支援拠点等事業を実施しています。この事業は、緊急事態があった場合に、事前の登録情報に基づいて障がい福祉サービス提供事業所と連携し、適切にサービスが利用できるように支援を行うもので、これまでに登録されている方は22人います。市としては、令和8年度に策定する第3次十和田市障がい基本計画及び第8期障がい福祉計画に登録者の目標値等を設定し、支援実績の検証を行うほか、専門性や経験を有した地域の関係支援者にご協力いただき、利用者やご家族の希望に添った暮らしができるよう、必要な備えを検討していきます。